



農林水産省東北農政局 「ディスカバー農山漁村の宝アワード」 授与式



代表で高野駅長が出席し、選定証を授与されました。式後、写真撮影、選定地区による意見交換が行われました。

2月2日には、受賞の報告に平田村ハバナロ生産組合の皆さんが村長室を訪れ、澤村村長に受賞報告をしました。受賞を励みにこれからも地域振興の核となるべく頑張っていきたいと思えます。

1月27日（火）、仙台市の農林水産省合同庁舎で行われました。前号でも触れましたが、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現を目指し、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し表彰するもので、2025年の第12回選定に道の駅ひらた「日本一辛い村プロジェクト」が選ばれました。当日は



GAP（ギャップ）って
ご存じですか。

Good Agricultural Practices の略で、「農業生産工程管理」とも呼ばれ、一口で言えば「良い農業を実践すること」です。これを実践することで、生産者、消費者、環境など、農業や食に関わる人や組織、地球環境等にとって「Good」な効果をもたらす、生産者の所得向上や労働環境改善をもたらす、ひいてはSDGsにつながる

GAP チャレンジセミナー

がると期待されています。道の駅ひらたでは、令和12年度の移転再整備に向け、GAPに積極的に取り組みます。2月4日（水）、福島県主催のGAPチャレンジセミナーがビッグパレットで開催され、道の駅ひらたからも関係者や農家の代表が出

席し研修してきました。
（次頁へ続く）

▽1月～2月の動き△

- 1月1日休業日
- 1月2日社長年頭訓示、初売り、鏡開き
- 1月8日福島DC向け市町村PR動画撮影
- 1月19日合同会社笑穂道の駅ひらた視察
- 1月27日農林水産省東北農政局「農山漁村の宝アワード」表彰式
- 2月2日「農山漁村の宝アワード」受賞報告会
- 2月4日GAPチャレンジセミナー
- 2月13日道の駅移転再整備検討委員会
- 2月14日道の駅ひらた直売組合品種検討会・種子販売会、真冬の熱辛グルメまつり（四季の里・福島市）、石川コン（八幡屋）
- 2月27日国土交通省防災道の駅勉強会

(前頁から続く)



盛況の GAP チャレンジセミナー

当日は A S I A GAP 上級指導員の菊地利正氏が基調講演を行った後、GAP に取り組みことなどのようなメリットをもたらしつつ、タレントのなすびさんとラジオ福島アナウンサーの大本愛惟さんを進行役に、県内ですでに GAP を取得し、成果を上げている先進事例3団体、社会福祉法人ひろせ福祉会(伊達市)、上の山彩果園(郡山市)、(株)木野内ファーム(泉崎村)を囲み、事例発表や質疑応答が行われま

した。定員は200名でしたが、会場はほぼ満員で関心の高さをうかがわせました。

化商品開発推進協議会および産業建設課、道の駅ひらたから、代表者5名

ふくしま6次化交流会

12月17日(水)、ビッグレットふくしまで開催されました。(主催:福島県定員100人のところ、6次産業に取り組んでいる事業者、これから取り組もうとする事業者、関連企業、行政関係者などのべ137社(人)が参集しました。平田村からは、6次

6次化に取り組んでいる事業者らが持参した商品を含みながら参加者交流を行いました。6次化商品の開発・製造を委託できる加工業者や、加工、梱包などの関連業者がブースを設け、提供できるサービスなどのPRを行いました。当駅も令和12年度に予定される移転再整備に向け、平田村産の原材料を利活用した6次化商品開発に力を注いでまいります。

などで、あつという間に2時間が経過してしまいました。今後、同社を帳合企業として、能登半島支援の商品展開を進めるとともに、平田村の特産物を能登で販売する企画も進めていく予定です。

編集後記

▽年が明けたと思ったらあつという間に2月です。年々時間が過ぎるのが早くなって困ります。▽本紙が皆さんのお手元に届くころは衆議院議員総選挙が終わって、新内閣が発足しているかもしれませんが。どのような内閣、国会(衆議院)ができるにせよ、国内外情勢が混沌とし、課題山積の中、党利党略に走らず、国家百年の計をしっかりと立て、投票した有権者の思いを裏切らないよう切に願います。(K)

が参加しました。はじめに実践者発表として、(株)トーション(新地町)と(株)SOSIO(川内村)がこれまでの取り組みについて発表し、そのあとすでに

能登半島地震復興支援団体

道の駅ひらたを視察

令和6年元旦に発生した能登半島地震と、そのあとの豪雨で能登半島が大きな被害を受けたことは皆さん記憶に新しいことだと思います。

1月19日(月)、石川県

中能登町で復興支援などの活動に取り組んでいる合同会社笑穂(わっほ)

の皆さんが、東日本大震災および原発事故の後、ユニークな取り組みにより知名度の向上や地域振興に成果を上げている例として道の駅ひらたを視察されました。

高野駅長から経過や説明を聞いたり、活発な質疑応答、直売所内の視察



6次化交流会 満員の会場